



図書館だより 5月

新学期が始まり、約1か月が経ちました。新しい環境には慣れたでしょうか？それぞれの場で自分なりの目標を定めて、焦らずじっくりと取り組んでほしいと思います。
図書館を利用する人も増えてきました。特に連休前は本を借りていく人が多かったです。1年生のみなさんもたくさん来てくれました。普段は忙しくて読む時間がないかもしれませんが、休みの時にちょっと一息、読書で心を癒すのもいいですね。

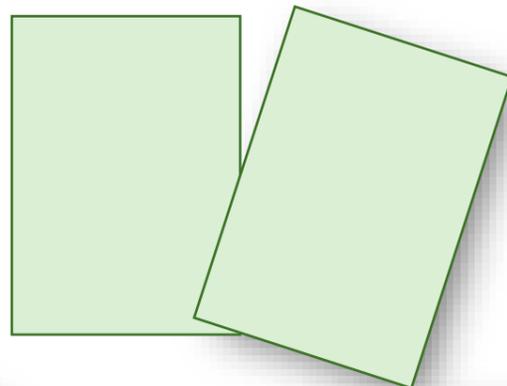


朝の読書応援プロジェクト

8:20~8:30の10分間は、朝の読書の時間です。「朝の読書で何を讀んだらいいかわからない」そんな人はいませんか？読む本に悩んだら、短編集、アンソロジーなどはいかがですか？10分で読み切れる、バラエティーに富んだ作品が図書室にはたくさんありますよ。

愛媛出身 田丸雅智のショートショートはいかが？

「坊っちゃん文学賞の選考」やショートショートの本の書き方の指導でも有名な田丸雅智氏。舞台が愛媛っぽい作品もありますよ。



5分後シリーズはいかが？



他にも多数あります。
本を読むのが苦手な人にもおすすめです！
図書室に展示しているので、借りに来てね！



3年生図書委員3名のおすすめの本です！

図書室にあるので、読んでみてね！



注：書籍の表紙、一部イラストはホームページでは掲載していません。
「後宮の鳥」
全7巻
白川紺子：著

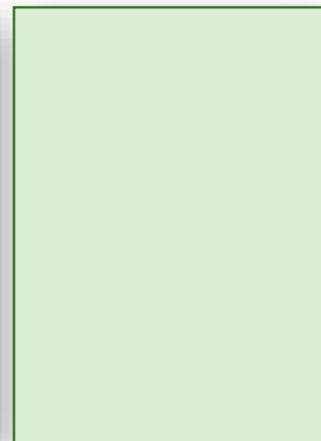
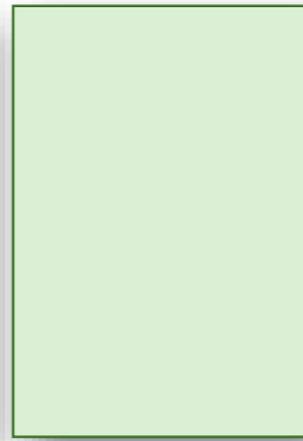
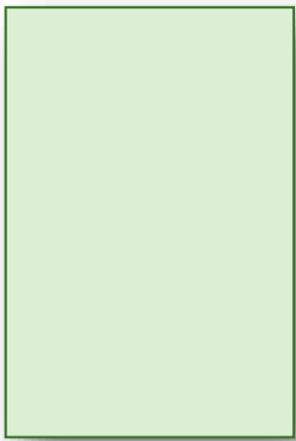
☆ストーリーが魅力的なので、中国の話ですが、自然と頭に入ってきます。表紙もかわいい。アニメ化もされるので、そちらも見てみてください。わたしはまだ半分しか読めていませんが、必ず全巻読みます！（Aさん）

☆舞台は安楽死が合法化された未来の日本。安楽死を願う人と向き合い、その心に寄り添おうとする主人公のひたむきな姿に心が打たれます。テーマは重いですが、文章は爽やかで読みやすいです。息苦しさを感じたことがある人、安楽死について考えたことがある人、みんなに読んでもらいたい、未来を照らす物語。（Eさん）

「インテールの祈り」樫一志：著

「神様のお宿」シリーズ 田井/エル：著

☆愛媛出身の作家の作品です。道後を中心に松山の名所を知ることができます。
シリーズ4巻のお正月の神様と羽根つきで勝負をするシーンが特に好きです。この章で主人公の叔母である碧さんを好きになると思います。（Yさん）



夏休みの読書感想文や、HR活動でのビブリオバトルに向けて、お気に入りの本を見つけようね！